

1. タクシーの名称及び定義

タクシー (又はハイヤー) 業は、道路運送法によれば「一般乗用旅客自動車運送事業」の日本名があり、又「契約により乗車定員10人以下の自動車を貸し切つて旅客を運送する一般自動車運送事業」と定義されています。更に厳しい免許基準があります。中には会社役員中に破産若しくは1年以上の懲役、禁固の刑に処せられたものがあつては行けない、との条項もあります。

1 昨年の東京オリンピックの時面白い話がありました。乗車拒否問題がおこつて不評をかつたのですが、当時東京にいた私は乗車拒否を無くするために、「この車は乗車拒否を致しません」と書いたステッカーを私共の車に貼らせました。ところが1枚足りなくなつたのです。調べてみると、従業員の中に新婚の者がいて、24時間交代制の変則勤務であるため夫婦仲がうまくゆかず、そこで彼は奥さんと乗車拒否をむすびつけ、御利益があるようにとステッカーを扉の下に貼つたそうです。

2. タクシー企業の現況

今やタクシーは大衆のものとなり、大いに利用されています。年間乗車人員 (全国) は昭和36年に16億人、39年には23億人となりました。1日平均630万人で、国鉄、私鉄、バス等に劣らぬほど伸びています。然し、最近では車代、材料代、燃料の値上げ、人件費の増高等のため、景気はよくありません。昔は運賃値上げも容易でしたが、公共事業的性格を帯びるようになってからは、運輸大臣 (陸運局) の他に経済企画庁の認可が必要となり、料金は据え置かれています。需要は伸びてはいるが苦境にあるのが現状です。

又国内産業の中では企業態としての地位が低く、バラバラで、全国の業界が真に一本となるべきだと思ひます。組織はありますが未だです。

3. 企業合理化について

これは極めて困難な問題です。車一台に運転者が1人要ります。人工頭脳で一度に数台の車を動かすことが出来れば前代未聞の革命ですが、望むべくもありません。明大の石井常雄教授がこの問題にとり組んでみたことがあります。陸運局の資料すら当てにならず、又各会社の資料も公開に難色を示し、自分の殻を破つてまでも合理化に尽力しようとの気持がみられなかつたそうです。

4. 結 び

昭和41年は馬年です。昔の馬は人間を運んだ意味において私共の祖先と言えます。馬年にあやかつて業界の発展を望みたいものです。

◆ 次 回 (2月2日) のプログラム 会員卓話 "これからの自動車" 杉本隆治君



通算才91号

1965~1966-1-26

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

第82回例会

本日のプログラム

会員卓話 "これからの自動車" 杉本隆治君

◆ 司 会 遠藤会長 ◆ 齊 唱 "手に手つないで"

◆ ビジター 小寺寛一君他13名 (函館)
荒川正敬君他8名 (函館東)

◆ 会長挨拶

- 1月23日~29日はロータリアン誌の創刊日を祝う「雑誌週間」です。
"The Rotarian"と"ロータリーの友"がありますが、我々はどのように利用しているかを反省すべき週間であると思ひます。利用法は色々あるでしょうが、先ず読んで、ロータリーの理解を深めるべきです。
- 本日の食膳に市川会員が日高で猟つた鹿の肉を供します。御賞味下さい。

◆ 幹事報告

- 明日午後6時より「館」にてアツゼンブリーを行ないます。
- 「入社の手」と「中小金融の窓」を購読希望の方は御申出下さい。

◆ 会員卓話 "セメントあれこれ" 今宮信雄君

セメントは1824年イギリスのアスプチンの発明によるもので、正式名称はポルトランドセメントです。普通セメント、早強セメント、中庸熱セメント、白色セメント等の他に、混合セメント (シリカセメント、フライアッシュセメント等) があります。異質セメントと呼ばれるものは似て非なるものです。このうち早強セメント (ペロセメント) は、普通セメントの2~3倍 (約1週間) の速さで固まるので、本道のような寒地に適します。

セメントと砂利、砂を水とまぜあわせるとコンクリートが出来ます。コンクリートは水を通し易いので、ヒューム管やダムを造る時は、技術者は緻密に造るために非常に苦心を払います。水を弾く油脂状のもの、細かい硬質粘土や砂、或るいは凝結効果促進剤を加える等、色々工夫がなされています。又セメント防水剤の名称は適当でなく、コンクリート防水剤と言うべきでしょう。

セメントを放置しておくと、空気中の水分や炭酸ガスを吸収して効力が弱ま



り(石灰石に戻る)、これを風化と言います。風化を防ぐには先ず空気の流通を悪くすることが大切で、貯蔵する場合には床を高くし、寄せ集めておくことです。風化の速度は、市販されてからの場合で月に5~10%宛となり、3~4カ月で相当効力がおちます。従つてセメントは出来るだけ新しいものを使用すべきです。新旧の見分け方は、中に指を入れてみて暖かく感ずる場合、冷たくても握つてみてしつとりした感じで若干固まる場合は新しいものです。最も確実なのは、セメントを90°Cに熱して水分や炭酸ガスを追い出し、その量を計つて風化度を推定することです。0.8~1.2%なら新しく、4%以上の場合は使用禁止です。

セメントには面白い性質があります。砂糖を少し入れると固まらず、大量混ぜると固まり、何れも困つた現象で、糖類と同居するのはタブーです。又セメントはアルカリ性なので、酸性のもの(例えば燐酸等の肥料)と一緒に置けば効力が弱まり、固まりが悪くなります。

普通セメントは水、砂利、砂等を加えて練つてから2~3時間で固まり始めます。3日後に20%、1週間で40%、4週間で80%、3カ月で90%、1年で90%固まり、100%固まるには3年かかります。温度も関係しますが、大体3週間で次の工事に移つてよいとされています。

セメントを練る時は水分を少なくし(セメント量の30~35%が理想ですが、一般には60%位の水が使用される)、固まり始めてから十分の水を与えることが大切で、これが良いコンクリートを造る鉄則です。混合比は普通の場合セメント1、砂利2、砂3の割合で、強度の要らぬものは1:3:6の比でよいのです。セメント単独で練つた場合には収縮が強過ぎ、かえつて亀裂を生じたりしてまづいのです。

(質 疑)

問 コンクリートの寿命は

答 普通300年と考えてよろしい。5cm風化するのに約300年かかるからです。そうなれば鉄筋が腐ります。他に悪条件があれば更に短い。

問 青函トンネルの水漏れ防止策は

答 まだ特殊なセメントは使つていません。単にセメントを吹き込むだけです。

◆ 出席報告

- 1. 本日 会員数 30名 出席 22名
- 2. 先週の確定出席率 90.00%
- (函館) 90.74%
- (函館東) 97.18%

◆ 次回(2月9日)のプログラム 映画 "南ベトナム"

- ◆ 司 会 遠藤会長 ◆ 斉 唱 君が代、奉仕の理想
- ◆ ビジター 伊部政次郎君他10名(函館) 富田恭君他8名(函館東)
- ◆ 会長報告

1. 卓上の「五稜シトロン」は、ノンカロリー、美容保健飲料として新発売された、函館RC川守田さん(羽衣ガラナ飲料KK)の御寄贈品です。
2. 新入会員「木村順治君」を御紹介します。「R.I.ニュース」中に新会員を迎えるに相応しい文章がありましたので朗読します。— 一部要旨
「貴下は当クラブで貴下の職業に関し選ばれたただ1人の代表者であり、又わがクラブから貴下の職業分類へ派遣した使節でもある。奉仕の理想と原理を貴下が代表者としての名誉を有する人々に伝達するのが貴下の義務である。」

◆ 幹事報告

1. 1969年のホノルルRI大会参加者の申し込みを受け付けております。
2. 函館市教委より「市民歩け歩け運動」の協力依頼が参つております。

◆ ニコニコ・ボックス

1. お誕生日おめでとう。堀君(7日) 西村君(16日)
2. 奥様のお誕生日おめでとう。今宮君
3. 御結婚記念日をお祝い申し上げます。北村君 水上君
4. 川守田さんより「五稜シトロン」を御寄贈いただいた他に、ニコニコ箱にも頂戴致しました。厚く御礼申し上げます。

◆ 会員卓話 "これからの自動車" 杉本隆治君

我が国の自動車工業は、昨年迄は外国業界との競走にさらされることなく、平穩に伸びて参りました。不況下の日本経済をよそめに、史上最高の成長を続け、生産、設備投資を伸ばして来ました。通産省が過当競走防止を狙つて「業界体制整備」を勧告したにも拘わらず、販売競走は激化の一途を辿り、業界は際限ない死闘を繰り広げるに至りました。然し昨年からの成長のスピードが鈍り前年同期の10%増(従来は約30%)に止まりました。そこに乗用車輸入の自由化が実施されたわけです。当然外車は従来より買い易くなりました。

現在は外車の輸入関税は40%で、当面は中、小型車の主要生産国である欧州から輸入した場合、関税の他に輸送経費やディーラーマージンを計算し、総販売台数がしれていることから、一挙にコストダウンするとは考えられません。